

循環器・心臓血管外科

- ・原則としてローテーター・スタッフにつき、診療の見学を行う。
- ・緊急手術の救急対応を見学したい場合は希望があれば可能である。
- ・状況に応じて指導医のもとで末梢静脈ルートキープ、静脈・動脈採血を行う。

1 集合時間・集合場所

7時30分・臨床研究棟1階 循環器外科学カンファレンス室

2 実習概要（実習内容）

- (1) 2週間を通して胸部外科（心臓血管外科）の診療に参加しチーム医療を理解する。手術では術前からの検査所見や診断を理解し、実際に手洗いをを行い手術に参加し、外科の手術を経験する。術後は集中治療室、病棟での急性期、亜急性期の診療に参加して、手術後の病態、管理を理解する。
- (2) 病棟では担当患者の診療に参加し、術前術後カンファレンス、回診を通じて胸部外科疾患に関する幅広い知識を養成するとともに、指導教員の下に実践的基本外科手技の実地訓練を行う。
- (3) 外来においては実際の外科診療に参加し、入院前後における知識の理解を深めるとともに、地域病院との連携を理解する。
- (4) ミニレクチャー（月、水）で心臓外科手術の流れを理解する。

3 GIO（一般目標）

外科学の一般的技術を理解し、臨床医として診断治療を行うのに必要な基本的態度を習得する。

心臓血管外科臨床実習において、特に以下の4項目を学び習得する。

- (1) 術前評価における総合的なリスク評価
- (2) 手術に積極的に参加する能力
- (3) 術後急性期の変化する病態の総合的把握
- (4) 基本的外科手技

4 SBO（到達目標）

- (1) 外科的手洗いができる
- (2) スタンダードプリコーションを実践できる
- (3) 正しい糸結びを実践に使えるレベルまで練習し体得する
- (4) 術前リスク評価を Japan score STS score EURO score で点数化して行い、実際の診察も踏まえてトータルの評価ができる
- (5) 受け持ち患者さんの手術では事前に手術の流れを把握しておき、助手として積極的に参加して手術の遂行に貢献できる
- (6) 術後急性期の経過について、結構動態（血圧、心拍数、中心静脈圧、肺動脈圧肺静脈楔入圧など）、呼吸、腎機能、炎症（感染症）、凝固・線溶について臨床データ、検査データ、画像データ、治療内容（強心剤投与量や人工呼吸の設定など）などをまとめて総合的に評価できる

5 スケジュール

	7:30	8:00	8:30	9:00	15:00	16:30	17:00	17:30
月	カンファレンス	病棟・ICU・回診		手術/病棟見学/ミニレクチャー		循環器合同カンファ		(病棟回診)
火	理学療法士 合同カンファレンス			手術 (成人心臓血管外科)				病棟回診
水	カンファレンス		教授回診	外来/手術 (小児心臓血管外科) /病棟見学 ミニレクチャー (各週)				
木				手術 (成人心臓血管外科)				手術ビデオカンファ (不定期)
金	カンファレンス			外来/手術			縫合・結紮 (1 週間目) 総括 (2 週目)	病棟回診

※糸結び, 外科手技のレクチャーは随時行います。

6 評価法

臨床実習現場における口頭試問, レポート, 出席状況

7 その他の注意事項

- (1) 病院実習における患者への態度, 言葉遣い, 服装に十分注意する。特に清潔 (手, 爪, 髪の毛) には気をつける。
- (2) 白衣, 聴診器持参。
- (3) 時間厳守。